

御嶽駅に、エレベーターを設置するには！

議会にて「御嶽駅にエレベーターを設置するには」という質問をしました。御嶽駅の階段、高齢者の方やベビーカーには非常に大変です。

現在、国交省が鉄道駅のバリアフリー化を進めており、「国とJRと青梅市の1/3ずつの出資」でエレベーターの設置が可能です。その条件として、**御嶽駅の利用者数が一日3,000人以上であることが必須です**。現在1,400人なので、このまま御嶽の観光を推進して、登山客、ハイキング客、釣り客、リバースポーツ客等が増えていけば、条件を満たし、エレベーター設置の実現に向けた議論に乗せることができます。



御嶽駅の階段。高齢者の方やベビーカーが大変



イメージ バリアフリー化へ！

青梅市サッカー協会・副会長になりました。



青梅市サッカー協会の副会長に就任しました。

平成26年度の青梅市サッカー協会は、青梅FCが全国クラブ選手権に出場。社会人男子が東京都で優勝、フットサル部が東京都で準優勝し全国大会に出場。15才以下の女子も全国大会に出場と、各カテゴリーで実績を上げています。まさに**青梅市は全国でも有数のサッカーどころ**になっています。

しかし、青梅市には天然芝or人工芝を要する正式なサッカーグラウンドがなく、練習の環境としては非常に厳しい状況にあります。子どもから大人まで競技人口が多く、またレベルの高いサッカーを繰り広げる青梅のサッカー。副会長としてグラウンドの建設に向け全力を尽くします。



おおせまち 39才 大勢待 としあき

御嶽周辺がリバースポーツで活況

議会にて、御嶽に関する一般質問をしました。

御嶽周辺は、御嶽山の登山客、大自然の中のハイキング、溪流での釣り、飲食店をはじめとした店舗、地域のおもてなし等、実に様々なところに御嶽の魅力が存在しています。そして近年、御嶽周辺がラフティング、カヌー、ボルダリング等のリバースポーツで盛り上がりを見せています。

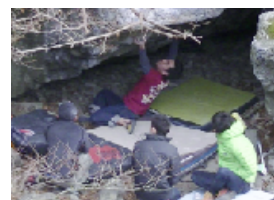
人の集まるところは、活気があり、新しいアイデアが生まれ、経済効果が広まり、次々と良い流れが続いていきます。まさに今、**青梅市に人々を惹きつける**

新たな流れが起きています。私たち市民で御嶽を応援しましょう！



【プロフィール】

1975(昭50)年4月27日生
ねむのき幼稚園
青梅市立若草小学校
青梅市立霞台中学校
都立立川高等学校
青山学院大学経済学部
立教大学院社会学研究科
元IT企業社員
現・中央大学客員研究員
青梅市議会議員(1期目)



岩場ではボルダリング

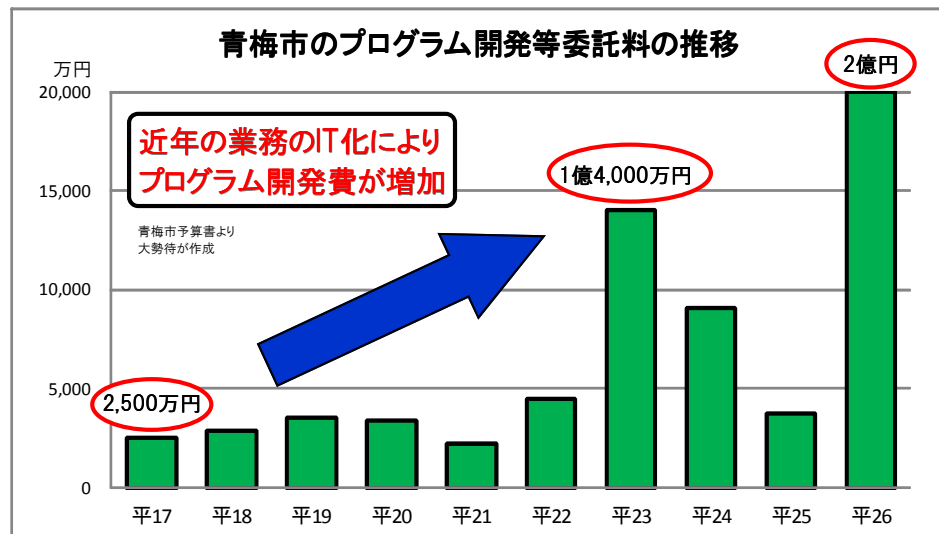


御嶽と言えばカヌー！

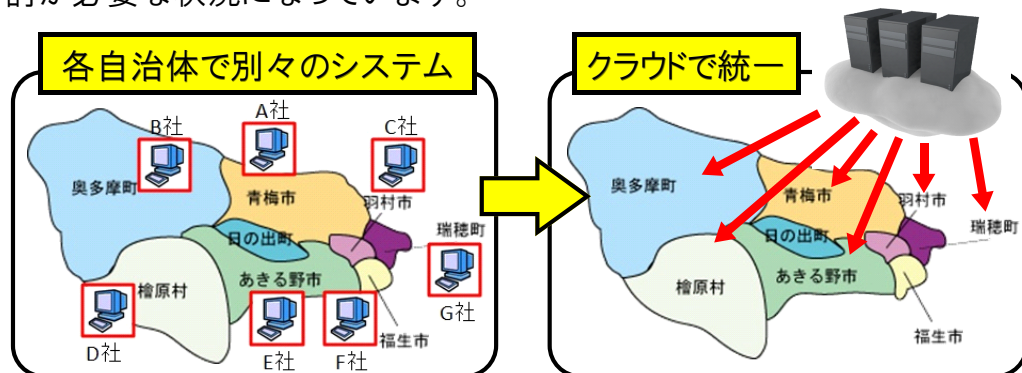


ラフティングで御嶽は大きな賑わいを見せています。

青梅市のITシステム経費の削減へ



青梅市のプログラム開発委託料が直近の10年間で、2,500万円から2億円へと約8倍に増えています。もちろんIT化による業務の効率化は重要なことです。しかしIT化それ自体の経費が大きくなっていくことは非常に問題です。例えば、経費を削減するために、近隣の自治体で、各々に採用しているITシステムを統一して共同利用を図るなど、今後の対策の検討が必要な状況になっています。



例えば、図書館の情報システム、施設予約管理システムなど、比較的似通った業務に関しては、西多摩広域行政圏で連携して、システムを共同開発し、共同運営の道を検討することが必要です。

その結果、各自自治体が個々で負担していた経費を大幅に削減できる可能性があります。

日経の全国誌一面に載りました！

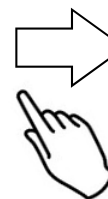
私、大勢待としあきの市議会議員としての活動が、日経BP社の全国誌『日経情報ストラテジー』のトップページに掲載されました。データ分析によって論拠を示す一般質問のやり方が、日経BP社の目に留まり、取材を受けることになりました。会社員時代に、統計分析、今でいうビッグデータの解析と経営改善のコンサルティングをしていたので、その経験が議員活動をする上でとても役立っていると実感しています。

一般質問は、市議会議員に与えられた貴重な権利です。年4回、1回につき持ち時間40分。市長・部長等に対して、市政に関する質問が何でもできます。毎回欠かさず真剣に取り組んでいたことがこうして注目されて、とても嬉しく思っています。記事を全文掲載したいところですが、著作権がございますので、お読みになりたい方は、書店などでバックナンバーをご購入いただくか、大勢待までご連絡ください。



『日経情報ストラテジー』

表紙をめくと



何とトップページに！



全国誌のトップページに掲載！

中央大学の客員研究員になりました。



中央大学 多摩キャンパス

中央大学経済研究所から声をかけていただき、中央大学の客員研究員になりました。「都市経営研究会」に所属し、教授陣と共に研究や論文発表を行います。具体的には、自治体経営や広域行政圏の現状分析と今後の在り方について研究。成果は、もちろん、青梅市政の為に役立てていきます。